

2012年度日本計量生物学会年会・チュートリアルのご案内

和泉志津恵, 高橋邦彦, 手良向聡, 服部聡 (企画担当理事)

2012年度日本計量生物学会年会を5月25日(金)午後ならびに5月26日(土)に統計数理研究所にて開催します。また、5月25日午前に同一会場にてチュートリアルの講演を実施します(応用統計学会と共催)。年会の一般講演を募集しますので奮ってご参加下さい。一般講演申込は下記の年会案内をご参照下さい。なお、前回の年会と同様に親子休憩室を設置しますので、お子様同伴でご参加いただけます。利用については下記の説明をご参照ください。

本年会は応用統計学会の後援で実施され、両学会員は本年会、5月25日のチュートリアル、並びに5月24日(木)開催の応用統計学会年会共に、会員価格で参加できます。なお本年度は本学会員の年会参加費を例年よりも減額いたします。参加費の詳細は以下をご参照ください。本年会並びにチュートリアルの参加につきましては、原則として事前に参加申し込みをしていただきますよう、ご協力のほどお願いいたします。参加申込には、申込用紙をご利用ください(年会案内に同封しています。もしくはHP <http://www.biometrics.gr.jp/> をご覧下さい)。

年会およびチュートリアルの会場および参加要領

会場

統計数理研究所 大会議室(2階) <http://www.ism.ac.jp/>
〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3 電話:050-5533-8500(代)

参加費

事前申込: [申し込み期間] 4月2日(月)~4月30日(月)
本学会員 年会1,000円, チュートリアル2,500円
応用統計学会員 年会2,500円, チュートリアル2,500円
非会員 年会4,500円, チュートリアル4,500円
学生(会員, 非会員とも) 年会1,000円, チュートリアル1,000円
年会・チュートリアルは一括申込をお願いします

当日申込:

本学会員 年会1,000円, チュートリアル3,000円
応用統計学会員 年会3,000円, チュートリアル3,000円
非会員 年会5,000円, チュートリアル5,000円
学生(会員, 非会員とも) 年会1,000円, チュートリアル1,000円

チュートリアル

5月25日(金) 9:30~12:00(予定)

テーマ:「予測医療に向けた臨床試験デザイン(仮)」

オーガナイザー: 松井茂之(統計数理研究所)

講師: 松井茂之(統計数理研究所), 山中竹春(九州がんセンター), 吉村健一(京都大学)

【内容】

予測医療(predictive medicine)とは、個々の疾患の分子的特性に基づいて治療効果を事前に予測することで治療の個別化を行うことである。予測医療の開発は、従来の広範でヘテロな患者集団を対象とした臨床試験、並びに、そこから得られるエビデンスに基づく医療(evidence-based medicine; EBM)とは異なる新しいパラダイム

を形成する。このパラダイムの実現に向けて、治療法の臨床開発は大きな変革を迫られる。本セミナーでは、予測医療開発の動機付けと基本的なコンセプトについて整理し、その上で、近年提案されている臨床試験デザインを最新の事例とともに紹介する。後者には、分子マーカーを用いたランダム化試験のデザイン、分子マーカー開発を伴う適応的デザインなどが含まれる。なお、本セミナーは、今年、神戸で開催される IBC2012 の招待セッション「Design and analysis of clinical trials for predictive medicine: new paradigm and challenges」(Organizers: Shigeyuki Matsui & Marc Buyse)に向けたイントロダクションとしても位置づけられる。

2012年度日本計量生物学会年会

日時：5月25日(金)午後～26日(土)

特別セッション：5月26日(土)午前(予定)

セッション名：「海洋生物資源評価のための統計モデルと解析」

オーガナイザー・座長：北門利英(東京海洋大学)、南美穂子(慶應義塾大学)

【趣旨】

水産資源の需要が世界的に高まる一方で、過去から幾度と無く繰り返されてきた乱獲、水産資源固有の様々な不確実性、そして漁業調整の難しさなどが原因で、水産資源はしばしば枯渇のリスクに直面する。また、混獲による生態系への影響も、近年、大きな問題としてクローズアップされてきた。持続的な水産資源の利用を図り、海洋生態系を保全する上で、海洋生物資源の資源状態を可能な限り正確に把握し、かつ漁業や環境変動などが資源に与える影響を理解することが必要となる。陸上の動物とは異なり、大規模でかつ直接観察できない海洋生物資源の解析は容易ではないが、国内外において、調査および漁業の観察情報を有効に利用するための統計的モデリングと推測方法が多岐に渡って発展してきている。本セッションでは、海洋生物資源の解析で利用される統計的方法について、資源評価から資源管理まで様々なテーマから方法論を紹介し、海洋生物資源管理への有効な情報を提供する手段としての統計的方法について議論を行う。

【演者・演題】

岡村 寛(国際水産資源研究所)「水産生物の年齢形質有効性検証のための統計モデル」

南美穂子(慶應義塾大学)「体長分布と資源量の傾向変動に基づく海域の分割」

庄野 宏(鹿児島大学)「傾向スコアを利用したまき網の漁獲効率推定」

北門利英(東京海洋大学)「遺伝情報と形態測定情報を利用した集団構造の推測と水産資源解析への応用」

特別講演(2011年度学会賞受賞者講演)：5月26日(土)午後(予定)

演者：大橋靖雄(東京大学)

演題：「臨床研究と生物統計学：解析、デザイン、そしてコミュニケーション」

一般講演の申し込み

以下の分野毎に演題を募集します。

- A. 臨床研究・臨床診断学, B. 疫学, C. ゲノム・バイオインフォマティクス,
- D. 農業・環境・資源, E. 医薬品・医療機器等, F. その他

応募の際には、ご希望される分野名を必ずご指定下さい。

分野毎の演題募集には、学会の独自性・特色をより打ち出し、専門性を深めるといふねらいがあります。分野毎に、より踏み込んだ活発な議論を期待しております。会員の皆様の積極的なご発表をお願い致します。

(1) 申し込み方法：

発表者氏名、所属(共同の場合は全員の氏名、所属)、講演題目、連絡先を明記の上、電子メール、ファックスあるいは葉書で下記にお送り下さい。また、Biometric Bulletinへの掲載のためにお手数ですが、講演題目、発表者氏名、所属についての英語版も合わせてお送り下さい。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階 (財)統計情報研究開発センター内
日本計量生物学会事務局
E-mail: biometrics@sinfonica.or.jp; Fax: 03-3234-7472
HP: http://www.biometrics.gr.jp/

- (2) 発表申し込み受付開始 2012年3月1日(木)
 - (3) 発表申し込み締め切り 2012年3月30日(金)
 - (4) 予稿原稿締切(必着) 2012年4月22日(日)
- ご講演を申し込まれた方には予稿原稿執筆要領をお送りします。

親子休憩室の設置について

前回の年会と同様に、チュートリアルセミナーおよび年会期間中、親子休憩室を設置します。お子さん同伴で安心してご参加いただけます。なお、親子休憩室でのお子さんの安全確保のため、親子休憩室では保護者が同伴することを条件とします。準備の都合上、参加申込書にご利用人数を記入ください。

その他

- ・年会期間中に日本計量生物学会総会及び学会賞授与式、並びに評議員会を開催します。
- ・5月24日(木)には応用統計学会年会が本年会と同会場にて開催されます。参加費は正会員、後援学会員3,000円、非会員5,000円、学生(会員、非会員とも)1,000円です。

会場周辺案内図

JR立川駅より、
[多摩モノレール] 高松駅下車、徒歩約10分
[立川バス] 立川駅北口2番乗り場から「大山団地方面行き」で「立川学術プラザ」下車(正門前に停車)
または「裁判所前」バス停下車 徒歩約5分



詳細は以下のURLをご参照ください: http://www.ism.ac.jp/access/index_j.html